

《担当者名》 池森 康裕 sr528@hoku-iryo-u.ac.jp 高橋 久江(非)

【概要】

利用者の尊厳保持と自立(律)した生活を支える観点から、必要な知識と技術を学ぶ。特に入浴・清潔・排泄の意義を理解し、安全で安楽な生活支援技術を学ぶ。

【学修目標】

- 1.入浴(清潔)の意義を理解し、利用者の状況に応じた自立支援ができる。
- 2.排泄の意義を理解し、利用者の状況に応じた自立支援ができる。
- 3.福祉用具の正しい活用方法を理解し、利用者のプライバシーに配慮した援助ができる。

【学修内容】

| 回  | テーマ                           | 授業内容および学修課題  | 担当者 |
|----|-------------------------------|--|-----|
| 1  | オリエンテーション<br>自立に向けた入浴・清潔保持の介護 | この科目で学ぶこと 科目の位置づけ<br>入浴・清潔保持の意義と目的を理解し、説明できる。<br>(身体的、精神的、社会・文化的意義と目的) | 池森  |
| 2  | 自立に向けた入浴・清潔保持の介護<br>の視点       | 入浴・清潔保持の介護の基本となる知識と技術を理解し、説明できる。                                       | 池森  |
| 3  | 対象者の状態に応じた入浴・清潔保持の介護          | 一般浴、シャワー浴、特殊浴槽(機械浴)の介護を理解し、説明できる。                                      | 池森  |
| 4  | 対象者の状態に応じた入浴・清潔保持の介護          | 部分浴(手浴)の介護を理解し、説明・実施できる。   | 池森  |
| 5  | 対象者の状態に応じた入浴・清潔保持の介護          | 部分浴(足浴)の介護を理解し、説明・実施できる。   | 池森  |
| 6  | 対象者の状態に応じた入浴・清潔保持の介護          | 部分浴(洗髪)の介護を理解し、説明・実施できる。   | 池森  |
| 7  | 対象者の状態に応じた入浴・清潔保持の介護          | 部分清拭(手・足)の介護を理解し、説明・実施できる。   | 池森  |
| 8  | 対象者の状態に応じた入浴介護                | 一般浴、シャワー浴、特殊浴槽(機械浴)、リフト浴の介護を理解し、説明できる。                                 | 池森  |
| 9  | 対象者の状態に応じた入浴介護                | 一般浴、シャワー浴、特殊浴槽(機械浴)、リフト浴の介護を理解し、説明・実施できる。                              | 池森  |
| 10 | 対象者の状態に応じた入浴介護                | 一般浴、シャワー浴、特殊浴槽(機械浴)、リフト浴の介護を理解し、説明・実施できる。                              | 池森  |
| 11 | 対象者の状態に応じた入浴介護                | 一般浴、シャワー浴、特殊浴槽(機械浴)、リフト浴の介護を理解し、説明・実施できる。                              | 池森  |
| 12 | 対象者の状態に応じた入浴介護                | 一般浴、シャワー浴、特殊浴槽(機械浴)、リフト浴の介護を理解し、説明・実施できる。                              | 池森  |
| 13 | 対象者に応じた介護<br>右片麻痺の高齢者介護       | 感覚・運動・高次脳機能が低下している人の入浴介護を理解し、説明・実施できる。(事例A)                            | 池森  |
| 14 | 対象者に応じた介護<br>左片麻痺の高齢者介護       | 感覚・運動・認知・知的機能が低下している人の入浴介護を理解し、説明・実施できる。(事例B)                          | 池森  |
| 15 | まとめ                           | 安全な入浴介護と他職種連携を理解し、説明できる(事故・感染対応含む)。                                    | 池森  |
| 16 | 自立に向けた排泄の介護                   | 排泄の意義と目的を理解し、説明できる。(身体的、精神的、社会・文化的意義と目的)                               | 池森  |

| 回  | テーマ                     | 授業内容および学修課題                                   | 担当者 |
|----|-------------------------|---|-----|
| 17 | 排泄介護の基本となる知識と技術         | 排泄のメカニズムを理解し、説明できる。                           | 池森  |
| 18 | 自立に向けた排泄介護の実際           | 自立度別介助の視点について理解し、説明できる。<br>(トイレ・ポータブルトイレ介助)   | 池森  |
| 19 | 自立に向けた排泄介助の実際           | 自立度別介助の視点について理解し、説明できる。<br>(おむつの介助)           | 池森  |
| 20 | 自立に向けた排泄介助の実際           | 自立度別介助の視点について理解し、説明できる。<br>(尿器・差し込み便器)        | 池森  |
| 21 | 排泄障害の知識と技術              | 頻尿、尿失禁について理解し、説明できる。                          | 池森  |
| 22 | 排泄障害の知識と技術              | 排便障害について理解し、説明できる。<br>(便秘、下痢、便失禁)             | 池森  |
| 23 | 排泄障害の知識と技術              | 自己導尿カテーテル、浣腸の取り扱いについて理解し、説明できる。               | 高橋  |
| 24 | 排泄障害の知識と技術              | ストーマ、パウチの取り扱いについて理解し、説明できる。                   | 高橋  |
| 25 | 対象者に応じた介護<br>右片麻痺の高齢者介護 | 感覚・運動・高次脳機能が低下している人の排泄介護を理解し、説明・実施できる。(事例A)   | 池森  |
| 26 | 対象者に応じた介護<br>左片麻痺の高齢者介護 | 感覚・運動・認知・知的機能が低下している人の排泄介護を理解し、説明・実施できる。(事例B) | 池森  |
| 27 | 対象者に応じた介護<br>右片麻痺の高齢者介護 | 感覚・運動・高次脳機能が低下している人の排泄介護を理解し、説明・実施できる。(事例A)   | 池森  |
| 28 | 対象者に応じた介護<br>左片麻痺の高齢者介護 | 感覚・運動・認知・知的機能が低下している人の排泄介護を理解し、説明・実施できる。(事例B) | 池森  |
| 29 | 他職種の役割と協働               | 排泄ケアにおける他職種連携を理解し、説明できる。<br>(事故・感染対応含む)       | 池森  |
| 30 | まとめ                     | 自立に向けた入浴・清潔、排泄ケアの要点を整理し、説明できる。                | 池森  |

#### 【授業実施形態】

##### 面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

定期試験45%、実技試験45%、レポート10%

#### 【教科書】

介護福祉士養成講座編集委員会編集：新・介護福祉士養成講座7 『生活支援技術』 中央法規 2019

#### 【参考書】

介護福祉士養成講座編集委員会編集：最新・介護福祉士養成講座6 『生活支援技術』 中央法規 2019

介護福祉士養成講座編集委員会編集：最新・介護福祉士養成講座14 『こころとからだのしくみ』 中央法規 2019

#### 【備考】

この科目は、介護福祉士国家試験受験資格取得のための「生活支援技術」に該当する。

#### 【学修の準備】

1. 演習では動きやすい服装と上靴を準備すること。
2. 腕時計、イヤリングなどのアクセサリは外すこと。
3. スカートや外靴では演習を受けられないので注意すること。
4. 講義・演習で渡した資料はファイルに保管して、毎回持参すること。
5. 演習を行う上では、次回の内容を事前にシラバスで確認し教科書を一読しておくこと。(60分)

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP2.1.3.4

**【留意事項】**

演習時は、学生同士のグループで進めるので、遅刻・欠席は他の学生へ影響を及ぼすので次の点に注意する。

1. 遅刻、早退、欠席は極力避けること。
2. 15分以上の遅刻・早退は欠席扱いとする。
3. 遅刻・早退 3 回で 1 回の欠席としてカウントするので注意すること。

**【実務経験】**

池森康裕（介護福祉士）、高橋久江（看護師）

**【実務経験を活かした教育内容】**

臨床および地域での医療・介護分野の専門職として、実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。